

Sedex に加入する食品・飲料業界 10 社がサプライチェーンにおける人権デュー・デリジェンスの推進を目指しワーキングチームを始動。

各社のサプライヤー様の Sedex への加入を促進

サッポロホールディングス（株）は、サプライチェーンにおける「労働条件を管理・改善する」ためのオンラインプラットフォームを提供する「Supplier Ethical Data Exchange（以下、Sedex）」に 2022 年 10 月から加入しています。本年、経済産業省から「責任あるサプライチェーンにおける人権尊重のためのガイドライン」が公表され、今後、日本企業においてもサプライチェーンにおける人権デュー・デリジェンスの取組みが推進されることが予想されます。この度、調達活動における人権デュー・デリジェンスの推進に賛同し、食品・飲料業界 10 社で発足した「食品&飲料業界のバイヤー会員 Sedex ワーキングチーム」に参画し、サプライチェーンにおける人権課題の推進に向けて、Sedex を活用しサプライヤー様との協働を図ってまいります。

■ Sedex

企業がグローバルサプライチェーンにおける労働条件を管理・改善するためのオンラインプラットフォームを提供する英国を本部に置く非営利団体です。企業や組織が、責任ある持続可能なビジネス慣行を改善し、調達活動ができるよう、世界最大のサプライヤーエシカル情報共有プラットフォームで、「労働」「健康安全」「環境」「ビジネス倫理」の 4 領域において、世界共通のサプライヤー自己評価アンケートを実施しています。世界 180 カ国・地域、65,000 以上の企業、団体、工場、自営業者等が当サービスを利用しています。

■ 食品&飲料業界のバイヤー会員 Sedex ワーキングチーム 概要

目的：食品&飲料業界における人権デュー・デリジェンスの促進

参画企業名：味の素株式会社・アサヒグループホールディングス株式会社

キッコーマン株式会社・キリンホールディングス株式会社

サッポロホールディングス株式会社・サントリーホールディングス株式会社

株式会社 J-オイルミルズ・株式会社ニチレイフーズ

ハウス食品グループ本社株式会社・株式会社ロッテ

以上 10 社

実施概要：食品&飲料業界内での Sedex の共通活用推進と標準化の働きかけ及びサプライヤー企業に対する Sedex 合同説明会の実施等加入促進の働きかけ等を行ってまいります。

www.sedex.com/ja/japan_food_and_beverage_working_team

■ サッポロホールディングスの取り組み

当社は、「サッポログループ人権方針」（注1）および「サッポログループ調達基本方針」（注2）に基づいた持続可能なサプライチェーン体制の強化に向け、2022 年 10 月、Sedex に入会しました。2020 年に策定した「サッポログループ人権方針」では、グループ各社のビジネスに関わる全ての人々の人権を尊重し、取り組みを推進しています。

またサプライチェーンのお取引先様とともに持続可能な社会の実現に貢献するため、「サッポログループ調達基本方針」を 2013 年に、「サッポログループ サプライヤーサステナビリティ調達ガイドライン」(注 3) を 2018 年に制定し、人権・法令遵守・環境などの分野における遵守事項について、その内容をお取引先様と共有し、ご理解いただきます。

これからは、サッポログループ サステナビリティ方針「大地と、ともに、原点から、笑顔づくりを。」のもとに、原料・包材・物流を中心に Sedex のプラットフォームを活用しながら人権デュー・ディリジェンスの活動を継続的に実施し、お取引先様と社会と環境に配慮したサプライチェーン全体におけるサステナビリティを推進していきます。

(注 1) <https://www.sapporoholdings.jp/csr/employee/diversity/respect/>

(注 2) <https://www.sapporoholdings.jp/csr/society/supply/guideline/>

(注 3) https://www.sapporoholdings.jp/csr/society/supply/guideline/pdf/procure_guideline_2018_02.pdf

以上